

戦争孤児を描く2本

24日 片山美穂ら一人芝居

戦争孤児の世界を書き続ける作家西村滋の書き下ろしが二本立ての一人芝居になる。西村作品の舞台シリーズ化を目指す「チーム・クレセント」の第一回公演で、二十四日午後二時と七時、名古屋・栄の愛知県芸術劇場小ホールで上演する。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。



「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。

「お菓子放浪記」は母の命日に決まってきたおかしな行動を取る男の、時間がたても消えない社会への怨念を。後者は空襲で死んだ母から届いた手紙を胸に、老いてなお感じ無限の愛を描く。